

「結笑」一笑顔が結ぶ仲間、地域との絆 白鷹中学校文化祭

11月3日、創立5周年を迎えた白鷹中学校で文化祭が行われました。

今年度の文化祭のテーマは「結笑」。笑顔あふれる文化祭を全校生でつくりあげようと、文化祭実行委員会を中心にシナリオ制作が進められました。

ラグビーワールドカップを題材としたユーモアあふれる演劇で幕を開けた文化祭。地域の方々から伝統や文化を学ぶ「ふれあい文化コーナー」では、地域で暮らすその道の達人を講師に招き、徳内踊り&和太鼓や将棋、伝統おやつ作り、家庭料理、エコクラフトなど、生徒たちが自分で選択した文化活動を体験し地域に受け継がれる大切な伝統を学びました。

その後行われた合唱コンクールでは、これまで積み重ねてきた練習の成果が存分に発揮され、どのクラスも素晴らしい合唱を披露しました。特に今年度から新たな挑戦として取り組まれた「学年合唱」はまさに圧巻。来場した人たちに大きな感動を与えました。フィナーレを飾る閉祭式では、これまでの歩みが映像で流れ、最後は全員で肩を組んで歌を歌いあげました。

創立5周年という節目を迎えた白鷹中学校の文化祭はテーマに掲げた「結笑」にふさわしい、笑顔あふれる祭典となり幕を閉じました。全校生、そして地域の方々に素晴らしい感動を与えました。

- 1_学年合唱の様子 2_開祭式の様子 3_紙すき体験
4_消しゴム版画体験 5_茶道体験 6_合唱コンクールで指揮をとる生徒
7_スイーツ男子 8_クラス合唱の様子 9_閉祭式の様子



第61回西置賜地区駅伝競走大会 白鷹チームが大会新記録で2連覇

11月4日、西置賜1市3町でたすきをつなぐ西置賜地区駅伝競走大会が開催されました。

今年も小学生から社会人ランナーまで出そろった白鷹町チームは1区の金子凜音選手がトップでたすきをつなぐと、最後まで1位を守り抜き、2位の長井市に6分以上の差をつけ、大会新記録で圧勝。2連覇を成し遂げました。

【出場メンバー】

- | | | | |
|---------------|---------|-----------------|---------|
| 1区金子凜音（蚕桑小5） | 区間賞 | 2区丸川和紗（長井高1） | 2位 |
| 3区金田琢夢（白鷹中3） | 3位 | 4区菅陽翔（鮎貝小5） | 2位 |
| 5区樋口凱（長井高2） | 区間賞 | 6区菅結愛（白鷹中1） | 2位 |
| 7区紺野凌（西置賜陸協） | 区間賞・新記録 | 8区佐藤聖悟（鮎貝小6） | 区間賞 |
| | | 9区後藤光雅（米沢工3） | 2位 |
| 10区中村璃楽（鮎貝小4） | 区間賞 | 11区小形侑斗（白鷹中3） | 2位 |
| | | 12区手塚雄一郎（白鷹町役場） | 区間賞・新記録 |



大会新記録を樹立した白鷹チームの選手とスタッフの皆さん

感謝の気持ちと生きる力を育む 東根小学校と蚕桑小学校で「弁当の日」

食事をする時に言う「いただきます」「ごちそうさま」。その本当の意味をわかってほしいとPTA母親委員会が毎年取り組んでいる活動「弁当の日」が今年も東根小学校と蚕桑小学校で実施されます。

自身で弁当を作り登校する「弁当の日」の前には、町の栄養士による事前学習会を行いました。参加した児童は「ごはんをつくることはすごく大変なことだとわかった。毎日作ってくれる家族に感謝しなければならないと思った。」と話しました。

弁当の日には、献立から食材の調達、調理、後片付けまでを自分の力で行う児童たち。食材の生産者、そして家族への感謝の気持ちと生きる力を育みます。



味付け具合を確認しながら調理をすすめる児童たち

甘くて美味しいりんごが実りました 鮎貝小学校3年生がりんごを収穫

11月18日、鮎貝小学校3年生の27名が箕和田地区のりんご農園でりんごの収穫を行いました。

これまで、6月に摘果作業、9月に葉摘み作業を行い、「甘くて美味しいりんごができますように」と願いを込めて育ててきました。実が大きくなってきた頃には手作りのシールを張り、収穫の日を心待ちにしていた様子の児童たちは、自分のオリジナルのりんごが見つかるとうれしい笑顔を浮かべながら収穫。収穫後には、採りたてのりんごを頬張りながら「手が痛くなったけど、甘くて美味しいりんごができてよかった」と話し、早く家族にも食べてもらいたいと心待ちにしていました。



真っ赤に実ったりんごを収穫する児童たち